

2021年10月13日

東海旅客鉄道株式会社

代表取締役社長 金子 慎 様

国土交通大臣 齊藤鉄夫 様

リニア新幹線を考える東京・神奈川連絡会

共同代表 天野捷一、山本太三雄、矢沢美也

### リニア新幹線大深度トンネルの調査掘進に関する抗議声明

東海旅客鉄道株式会社（以下、JR東海）は10月12日、東京・名古屋間のリニア大深度工事のうち、東京品川区の北品川非常口の大深度地下で、14日からシールドマシンによる調査掘削を始めると発表しました。

一年前の東京外環道の大深度地下トンネル工事が原因で発生した道路陥没を受けて、JR東海は地盤影響を調べるため300メートルにわたって「調査掘進」を行うとしています。

リニア工事に反対しているリニアから住環境を守る田園調布の会は発表後ただちに抗議声明を出しましたが、同じリニア新幹線の大深度工事が予定されている私たち川崎の市民も本採掘につながる「調査掘進」に強く反対します。

今年6月から9月にかけてJR東海によるシールドマシンによる大深度工事の安全・安心に関する説明会が行われました。JR東海は外環道の道路陥没事故は「特殊地盤の施工管理に課題があった」という外環道有識者会議の無責任な調査結果を受け、「東京や川崎の大深度地下ルートには特殊地盤はない」、「地盤・地質調査は十分に行った」、「シールドマシンの改良や施工のやり方に慎重を期す」などと説明し、大深度トンネル工事の早期実施の姿勢を示しました。

JR東海が実施しようとしている「調査掘進」は、実際は来年度以降に始める本掘進の準備工事と言えるもので、説明会でも出されたボーリング調査の徹底実施、大深度トンネルによる不動産価格の低下、被害補償の確認などの住民の声に答えぬ暴挙であり、私たちは「調査掘進」を直ちに中止するよう強く求めます。

以 上